

令和元年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、市長と教育委員会で共有する「北九州市教育大綱」（5月改定）の方向性に沿って、子ども一人一人の個性を踏まえながら、市民総ぐるみで、本市の未来を担う子どもたちの心の中にシビックプライドを醸成する取組みを推進します。

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」については、計画期間満了に伴い、本年秋を目途に次期計画の策定を進める。学校・教職員と教育委員会は互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組みを進めるとともに、家庭、地域、関係部局・機関等と連携しながら各種施策を着実に推進します。

新学習指導要領への着実な対応、教育用タブレット端末の整備など、子どもの教育環境の整備を進めるとともに、「学校における業務改善プログラム」を着実に推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けた不断の取組みを進めます。

I 心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

- 1 心の教育推進事業
- 2 子どものシビックプライド育成事業

II 学力・体力の向上

- 3 小学校外国語（英語）教育の充実
- 4 学校の読書活動推進事業
- 5 北九州市学校応援基金事業
- 6 子どもひまわり学習塾事業

III 特別支援教育の充実

- 7 小池特別支援学校整備事業
- 8 小倉総合特別支援学校整備事業
- 9 特別支援教育を推進する体制の充実
- 10 「特別支援教室」設置事業

IV 学校における業務改善の推進

- 11 学校現場における業務改善事業
- 12 学校支援のための講師等配置事業
- 13 「チーム学校」運営・推進事業
- 14 部活動指導員の配置

V 教育の情報化の推進

- 15 教育用タブレット端末等の整備

VI 学校施設の整備

- 16 学校施設老朽化対策事業

教育委員会総務部総務課

担当（富原・猪本） TEL：582-2352

※個別の事業の内容については、各担当課へお尋ねください。（P5参照）

I 心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

- 1 心の教育推進事業 28,006 千円
小・中学生合唱フェスティバルや舞台・音楽・美術等の芸術鑑賞を通して生の伝統文化に触れ、社会性や思いやりの心、豊かな人間性を育む道德教育・体験活動を推進する。
- 2 **新**子どものシビックプライド育成事業 8,000 千円
～SDGsの視点に立った地域教材資料集～
小学校3年生以上の児童・生徒や保護者が学ぶことができる、SDGsの視点に立った地域教材資料集を作成し、北九州市の魅力やSDGsの理解を推進し、シビックプライドの醸成を図る。

II 学力・体力の向上

- 3 小学校外国語（英語）教育の充実 238,666 千円
（他に債務負担 176,000 千円）
小学校において、児童のコミュニケーション能力の素地を養うため、外国語指導助手（ALT）との英語を使ったコミュニケーション活動を推進する。また、英語に堪能な日本人を指導助手（日本人ALT）として小学校に配置することで、言語に対する知識や日本人が行う外国語学習の展開を促し、小学校教員の授業力向上を図る。
- 4 学校の読書活動推進事業 128,807 千円
平成27年7月に施行された「北九州市子ども読書活動推進条例」を踏まえ、子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、中学校区に学校図書館職員を拡充して配置し、学校における読書活動を一層推進する。
<中学校：50人→56人>
- 5 **新**北九州市学校応援基金事業 3,000 千円
本市における教育の振興を目的に寄付された寄付金を基に設置する「北九州市学校応援基金」を活用して、学力・体力の向上や教育的課題の解決に向けた各学校の特色に応じた取り組みを推進する。
- 6 子どもひまわり学習塾事業 132,600 千円
（他に債務負担 8,400 千円）
児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施する。

Ⅲ 特別支援教育の充実

- 7 小池特別支援学校整備事業 45,300 千円
(他に債務負担 47,600 千円)

西部地域における知的障害児の増加への対応及び老朽化した校舎・運動場の狭隘化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の改築にかかる実施設計等に着手する。

- 8 小倉総合特別支援学校整備事業 615,000 千円
(他に債務負担 139,400 千円)

総合療育センターの移転に伴い、整備する小倉総合特別支援学校校舎等について、令和2年度の供用開始に向け、移転後の総合療育センター東棟の改修工事や、バスターミナル新設工事等を実施する。

- 9 特別支援教育を推進する体制の充実 393,266 千円

特別支援教育介助員や特別支援教育学習支援員等を拡充配置・活用し、特別支援教育に係る相談機能や支援体制の充実を図るとともに、就労支援コーディネーターの配置・活用などにより、将来の自立や社会参加に向けたきめ細かな就労支援を進める。

<特別支援教育介助員 26人 → 30人>

<特別支援教育学習支援員 37人 → 50人>

- 10 ⑨「特別支援教室」設置事業 1,000 千円

発達障害などの障害のある児童生徒が、他校に通級することなく、自校の通常の学級で教育を受けながら、必要な時間に特別な指導を受けることができる「特別支援教室」を新たに設置する。

令和元年度は、モデル的に小倉北区の全小学校及び浅川中学校において実施する。

Ⅳ 学校における業務改善の推進

- 11 学校現場における業務改善事業 102,466 千円
(※職員給分を含む)

平成30年度から市立学校全校で本格実施している業務改善をさらに推進するとともにスクールサポートスタッフの拡充配置を行い、教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保していく。

<スクールサポートスタッフ：40人→97人>

- 12 学校支援のための講師等配置事業 519,728 千円

学力向上や長期欠席・不登校対応など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、講師を配置する。

13 「チーム学校」運営・推進事業

279,925 千円

【スクールカウンセラー活用による問題行動等防止事業】

71,000 千円

長期欠席・不登校の児童生徒への対応や、いじめ・自殺などの諸問題の未然防止を図るため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置する。

【スクールソーシャルワーカー活用事業の充実】

78,000 千円

貧困や虐待等への対応を含め、児童生徒の問題行動の背景にある家庭等の問題に対して、関係機関との連携を図りながら支援を行うため、「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーを拡充して配置する。

<スクールソーシャルワーカー 12人→15人>

【スクールロイヤーの活用】

2,520 千円

生徒指導上の諸課題や学校への不当な要求等に対し、相談対応や学校へ出向いて法的助言を行うスクールロイヤーの活用を図ることで、学校が子どもに適切な教育を施すことができる環境を整える。

<スクールロイヤー 0人→1人>

14 部活動指導員の配置

12,418 千円

顧問教員に代わって、単独での指導や引率等の業務を行う「部活動指導員」を拡充して配置し、教員の負担軽減と部活動指導の充実を図る。また、地域の人材の一層の活用を図るため、NPOに部活動指導業務の一部を委託する。

<部活動指導員 19人→28人>

<NPOへの委託 1部活動→2部活動>

V 教育の情報化の推進

15 ⑧教育用タブレット端末等の整備

19,200 千円

(他に債務負担 338,800 千円)

発展的な協働型・双方向型の学習を実現するために、タブレット端末を整備し、情報活用能力の育成に取り組む。グループ学習において調べた情報の集約やプレゼンテーションなど、タブレット端末を活用した学習を展開する。

<中学校62校、特別支援学校8校>

(普通教室用：1校あたり12台 ※大規模校は1校あたり24台)

(特別支援学校用：1校あたり小学部8台、中学部5台、高等部5台)

VI 学校施設の整備

16 学校施設老朽化対策事業

4,916,100 千円

安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修工事などの老朽化対策や安全対策を進める。

教育委員会主要施策に関するお問い合わせ先

	主要施策（事業）名	主担当課
1	心の教育推進事業	指導第一課 (582-2368)
2	子どものシビックプライド育成事業	指導第一課 (582-2368)
3	小学校外国語（英語）教育の充実	指導第一課 (582-2368)
4	学校の読書活動推進事業	指導第一課 (582-2368)
5	北九州市学校応援基金事業	指導企画課 (582-2367)
6	子どもひまわり学習塾事業	学力・体力向上推進室 (582-3445)
7	小池特別支援学校整備事業	企画調整課 (582-2357)
8	小倉総合特別支援学校整備事業	企画調整課 (582-2357)
9	特別支援教育を推進する体制の充実	特別支援教育課 (582-3448)
10	「特別支援教室」設置事業	特別支援教育課 (582-3448)
11	学校現場における業務改善事業	教職員課 (582-2372)
12	学校支援のための講師等配置事業	教職員課 (582-2372)
13	「チーム学校」運営・推進事業	指導第二課 (582-2369)
14	部活動指導員の配置	指導第二課 (582-2369)
15	教育用タブレット端末等の整備	学事課 (582-2378)
16	学校施設老朽化対策事業	施設課 (582-2361)